

深川消防団ニュース



さきもり

発行：深川消防団

所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422

水掛け祭りで「消防団放水訓練」

各所で消防団員は、頭から水をかぶりながらも活動しました!



急ごう震災対策(家具類の転倒・落下・移動防止対策)

第36回深川消防団消防操法大会

〔冬木二番数矢小裏〕

〔六月一日(日)〕

第六分団 優勝おめでとうございます
合言葉・・・

六分団をナメンナヨヨ！
ウーマンパワーをなめんなヨヨ！

だそうです、失礼いたしました。

(第六分団 齋藤 編集員)



災害協力隊の演技



第36回 深川 第六分団 消防操法大会

入賞分団

- 優勝 第六分団
- 準優勝 第二分団
- 第三位 第四分団

優秀個人賞

- 指揮者 第八分団 部長 山内 浩二
- 一番員 第二分団 団員 宇田川 敬司
- 二番員 第六分団 団員 田口 訓正
- 三番員 第六分団 団員 形屋 敬介
- 四番員 第六分団 班長 竜崎 誠

深川消防団幹部親睦会

(平成二十六年六月)

6月14日深川消防団幹部研修会として「東京消防庁立川防災施設」を訪問しました。

立川防災施設には「立川防災館」「第八方面本部」「第八方面消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)」「第八消防方面訓練場」「航空隊」等がある複合施設です。立川駅近く、国立昭和記念公園の隣に位置しています。

お出迎えいただいたのは、阿部深川消防署長が消防学校の教官時の愛弟子



東京消防庁立川防災施設

(第八分団 庄井 編集員)

で現在は、第八方面消防救助機動部隊で部隊長を務める消防司令福留さんでした。映像でハイパーレスキューについて研修した後、隊員の方に施設内をガイドしていただきました。施設内には様々な仕様の消防車・救急車・作業車両等が配備されており、興味深く説明を聞かせていただきました。また訓練塔では、実物大の電車やヘリコプターからの救助訓練用の設備、マンション火災に対応した訓練設備等がありました。第八消防方面訓練場でもある為、当日も第八方面の消防署から訓練にいられていました。大変丁寧に説明していただいた為、予定時間を過ぎてしまい「立川防災館」の方は極短時間での見学となってしまいました。

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ 〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 ムトウユニパック

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)
http://www.mutoh-u.co.jp/
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
橋本・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

実践的活動訓練

―災害時想定各分団参加―

【深川消防署裏庭】

【七月二十六日】

7月26日(土)深川消防署裏庭に於いて、実践的活動訓練が行われました。昨年からの定期的に行われていた訓練で、各分団から団員が数名ずつ参加して行われていました。

内容は実際の災害を想定し、本団指揮隊から出場命令がでて、火事場を想定した建物に放水するまでの訓練です。今後も年内に数回行われる予定です。

現在、耐火建築が増えてきている中で消防団員が火事場に出場し放水するという事案はあまりなくなっていることから、とくに経験の浅い団員に本訓練に参加していただきたいと思



団本部のMCA無線運用訓練

消防官採用試験合格

九分団期待の新人 団員増山 恭平

この度、東京消防庁消防官採用試験にて、最終合格を頂きました。

長い目標としていた消防官としての仕事を始めさせていただけることを大変嬉しく、光栄に思います。



私は普段、施設介護職員として勤務をし、昨年二月より、第九分団の所属となりました。

学生時代より、高齢者や障害者、外国人の方など、災害時要援護者支援に関心が強く、接する機会を多く設けてきました。そこで入庁後は、災害時要援護者の支援に携わる事で、一人でも多くの方々の力になればと考えています。第九分団の活動も残り僅かとなりました。

地域の方々の力になり、また今後の消防人生に繋げる為に、より一層気を引き締めて取り組んで参ります。どうぞ入庁までの期間ではあります

が、宜しく願います。
(第九分団 岩淵 編集員)

江東区総合防災訓練

―深川消防団参加―

【都立木場公園多目的広場】

【八月二十日】

今年は、

深川消防団が参加

平成26年度江東区総合防災訓練が、江東区主催で実施されました。

木場公園会場では深川消防署・深川消防団・自衛隊・江東区医師会などの防災関連機関による救出救護訓練が行われました。

消防団だけではなく自衛隊・医師会とも連携をしなければならずより実践に近い形式での訓練となりました。

広島での大雨による土石流発生により多くの方が被災された直後であったこともあり、防災への意識の高いな実践さながらの緊張感をもった訓練を行いましたと思

えたとします。
消火・延焼防止訓練では、消火隊・災害時支援ボランティア・消防団・消防署による放水訓練が行われ、こちらも各団体で連携をしながらの訓練となりました。
終わりに、号令による各団体の一斉放水も行われ、素晴らしい訓練となりました。

(第五分団 圓城寺 編集員)

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



オーラホテルズ&リゾーツ
ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。



江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

山下前副団長 長官章受賞

永年勤続功労により

6月21日(土) 山下前副団長(受賞時副団長)がこの春受章されました、「消防庁長官永年勤続功労章を祝う会」がホテルイースト21で開催されました。山崎江東区長をはじめ各界の方々に多くお集まりいただき、大変暖かくよい会になりました。

山下前副団長は消防団生活を振り返り、周囲の人々の協力が不可欠であり、特に奥様の協力のありがたさについて述べておられました。

山下勝義氏の消防庁長官永年勤続功労章授賞式



御礼の挨拶をする山下前副団長(第八分団出身)

小型ポンプ積載車のお披露目

第五分団に配備

平成二十六年三月十五日、第五分団に小型ポンプ積載車が配備されました。これにより、更に団活動の幅がひろがる事になります、分団内でも小型ポンプ積載車を活用した新たな訓練を行い、団員一同、地域の防火・防災に努めて行く所存であります。

(第五分団 圓城寺 編集員)



幹部夏期懇親会

8月27日(水) 東天紅深川店において幹部夏期懇親会が開かれました。阿部深川消防署長をはじめ友の会の皆様も多く参加いただきました。その中で皆様より深川八幡宮大祭をはじめこ

の夏に行われた各行事での放水訓練及び警戒に対してねぎらいの言葉をいただき。その後、武藤元団長の乾杯の合図で懇親会が行われたいへん和やかな会となりました。



乾杯の音頭、武藤元消防団長(第五分団出身)

表彰者の紹介 採法大会以降の

◆深川消防署長表彰(5月30日) 建物火災における活動功労 第五分団 第六分団

永代二丁目で発生した、第二出場火災において猛暑の中、長時間にわたり消防隊と連携し消防活動環境の整備や安全確保警戒区域の早期設定など積極的な消防活動を行い被害軽減に努めた。

お詫びと訂正

前号で紹介しました豊洲出張所長が「村瀬信男」となっておりましたが正しくは次の通りです

豊洲出張所長 消防司令 村橋 信男

さきもり編集委員

分団名	任	務	階	級	氏	名
団本部	監	修	団	長	小	安 勤
団本部	編集責任者	副	団	長	岡	本 繁
団本部	編集補佐	分	団	長	椎	名 貞雄
一分団	編集補佐	副	分	団	長	長谷川祐二
一分団	委	員	班	長	能	登 晴美
二分団	委	員	班	長	平	林 忠之
三分団	委	員	班	長	中	島紗江子
四分団	委	員	班	長	正	本 光生
五分団	委	員	班	長	圓	城寺正和
六分団	委	員	班	長	齋	藤 定信
七分団	委	員	班	長	武	藤 壽子
八分団	委	員	班	長	庄	井 勤
九分団	委	員	班	長	岩	淵 初美
十分団	委	員	班	長	榎	山美恵子

編集後記

今夏も各地で、ゲリラ豪雨や台風による多くの被害が出ました。我が町、深川消防団担当区域では災害は発生しませんが、いつ起きても迅速な活動が出来るよう心がけなければなりません。この「さきもり」がその一助になれるよう消防団活動に役立つ記事をと、心がけています。今後とも、団員の皆さんと一緒に新しい紙面づくりをしていきたいと思っております。

「さきもり編集部一同」